

平成30年度 石巻市  
地域づくりコーディネート事業  
事業実施報告

石巻市湊地区復興公営住宅入居者と周辺地域に  
おける「顔の見える関係」の構築と  
互助力の向上に向けた住民育成の取組み

2019年3月  
特定非営利活動法人ぱんぷきんふれあい会

## はじめに

2011年3月11日に発生した東日本大震災から8年が経過し、石巻市内の復興公営住宅も全戸完成し、中心市街地等の整備が進むなど、市内の復興は着実に進展しています。しかしながら、復興公営住宅に入居する高齢者等の生活不活発病の予防や、同住宅の入居者と周辺の住民との交流促進など、地域を支えるための取組みも必要となってきました。

こうした状況に対応していくためには、地域内の組織力の向上や関係機関同士の連携による見守り・交流支援の実施に加えて、地域の多様なニーズに即した住民による互助活動の育成や促進を図ることが重要になります。加えて、地域コミュニティの継続に向けて、現役世代等幅広い世代の方が地域課題に対する意識を高め、今後の互助活動の担い手となるために、育成を図ることが必要と考えられます。

上記の状況を踏まえ、当法人は「平成30年度石巻市地域づくりコーディネート事業」の補助金を活用し、町内会活動への運営支援による地域住民の交流促進や住民互助活動の担い手の掘り起こしと育成、組織化、および互助活動に参画する住民の裾野の拡大（ライトな互助人材の掘り起こし）に向けた取組みを実施することを目的として、各種事業を実施いたしました。

本書は、同補助金を活用して石巻市「湊地区町内会」において実施した、地域住民の交流促進の活動や互助活動の担い手の掘り起こし活動等の成果を取りまとめたものです。本書の内容が、市内各地における住民互助型のコミュニティ形成に向けた取組みのヒントになり、高齢者や児童、障害者等誰もが住みやすい地域づくりのお役に立つものとなりましたら幸いです。

最後になりましたが、各種事業の運営にご協力いただいた皆様、各種事業にご参加いただいた地域住民や企業の皆様、また、本事業を遂行するために様々な助言をくださった皆様に厚く御礼申し上げます。

2019年3月

特定非営利活動法人ばんぷきんふれあい会 代表理事

渡邊 智仁

## 本書の目次

### . 事業の背景と目的

1. 事業の背景
2. 事業の目的

### . 実施事業概要

1. 事業全体の流れ
2. 事業実施内容

### . 事業に対する評価

1. 本事業における意識啓発セミナー参加者向けアンケート結果
2. 本事業に参画した参加者等への聴き取り調査結果
3. 本事業に参画した事務局職員への聴き取り調査結果

### . 事業の総括と今後に向けた提言

1. 本事業の総括
2. 当法人における今後の取組み

## 事業の背景と目的

---

- 本章では、本事業における問題意識や事業の目的を記載した。
- 併せて、事業開始当初に設定した目標についても言及している。

## 1. 事業の背景

- 東日本大震災の発生以降、特定非営利活動法人ぱんぷきんふれあい会(以下、当法人)では石巻市湊地区において、町内会をはじめ、社会福祉協議会(地域福祉コーディネーター)、地域包括支援センター等と連携して、復興公営住宅入居者および同住宅周辺地域の住民を対象に、互助活動の中核的な担い手の掘り起こしと育成、組織化、互助活動に参画する住民の裾野の拡大(互助人材の掘り起こし)に向けた取組みを2016年度から継続的に実施してきた。
- その結果、(当法人が伴走した)住民自らの企画・運営による互助活動に、独居やフレイルの状態にある高齢者や子育て中の母親、子ども等が参画したこと等により、地域における顔の見える関係づくりが進んできた。
- しかしながら、互助活動に参画する住民の広がりが見られないほか、活動の担い手の確保が不十分であり、支援が必要な住民に対して当該活動による支援が上手く行き届いていないという課題も見られる。
- また、町内会等の住民自治組織による効果的な地域づくりに向けた取組みが一部では見られるものの、住民、住民自治組織、支援団体等の多様な主体間の連携・共有が進んでいないという現状も見られる。

## 2. 事業の目的

### (1) 本事業の目的

- 前述の問題に対応するため、下記を目的として本事業を実施する。

#### 【町内会への支援を通じた地域住民の交流促進】

- 石巻市の湊地区（吉野町一丁目、吉野町二丁目、吉野町三丁目、湊町一丁目、御所入、松並町）にある「復興公営住宅」入居者および同住宅周辺地域の住民を対象に、町内会活動の運営支援を通じ地域住民の交流促進を図る。
- 具体的には、同町内会が開催する地域イベント・教室等の各種事業に対して、必要に応じて、企画・運営への支援を実施し、町内会の組織力を高めることを目指す。

#### 【互助人材の掘り起こし】

- 同住宅周辺地域の住民を対象に、互助活動の中核的な担い手の掘り起こしと育成、組織化、および互助活動に参画する住民の裾野の拡大（ライトな互助人材（ ）の掘り起こし）を目指す。
- 具体的には、意識啓発セミナーや「住民主体による互助サービス」を検討する機会（ワークショップ）の開催、（当法人が伴走した）住民自らの企画・運営による実際の互助活動の試行実施等を通じ、互助活動の重要性と活動を立ち上げる具体的な流れに関する理解促進、実践を通じた人材の育成を図る。なお、比較的参加へのハードルが低いボランティア機会を提供し、地域に関心を持つ住民の育成を図ることを目的に、当法人が実施するボランティアマッチングも活用していく。

本事業における「ライトな互助人材」は、互助に関するボランティア活動に興味・関心があり、活動の補助や協力を行う人のことを指す。

## 2. 事業の目的

### (2) 具体的な目標

- 湊地区の町内会等の住民自治組織と連携し、住民自治組織が主体となり当該地域の課題対応に向けた取組みの企画・運営を支援する。
- また、復興公営住宅入居者や周辺地域の住民等の中から、住民主体によるコミュニティ形成活動の担い手を掘り起こし、育成する。
- さらに、子育て世代等の多様な世代を対象に、比較的参加へのハードルが低いボランティアの機会を提供し、将来的に地域の互助活動の担い手となる人材を掘り起こす。
- 加えて、過去に本事業を通じて掘り起こし・育成を行った人材による互助活動を、本年度も継続する。

目標項目	内容
住民自治組織の組織力強化に向けた当該地域の課題対応	湊地区の町内会が開催する地域課題への対応に向けた交流促進等の取組みの企画・運営を支援し、住民自治組織の組織力強化を図る。
住民互助の中核人材の掘り起こし・育成	本事業における住民互助型の交流イベント等の企画運営による実際の互助活動を行い、互助活動の重要性と活動を実施するためのフローに関する理解促進、実践を通じた人材を育成する。
ライトな互助人材の掘り起こし	地域包括支援センターや子育て支援を行う関係機関等と協働の下、比較的参加へのハードルが低い多様なボランティア機会を提供し、同機会への参加を通じて地域のことに関心を持つ住民を育成する。
過去に掘り起こし・育成を行った人材による活動継続	過去に本事業を通じて掘り起こし・育成を行った人材による住民互助の活動を継続する。

## 事業実施概要

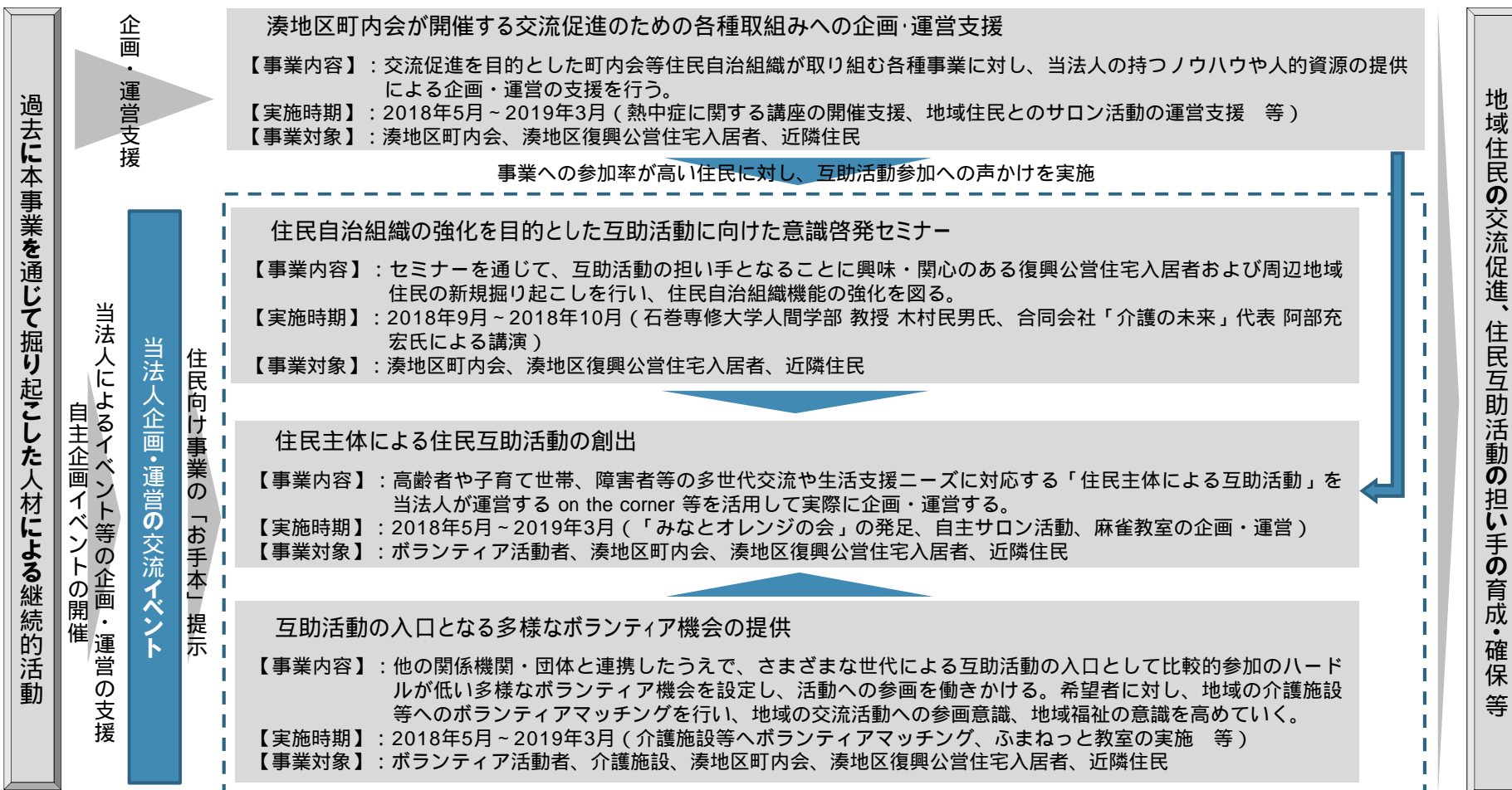
---

- 本章では、事業実施概要として、事業全体の流れ（フロー図）を記載した。
- また、本事業において実施した「湊地区町内会が開催する交流促進のための各種取組みへの企画・運営支援」「住民自治組織の強化を目的とした互助活動に向けた意識啓発セミナー」「住民主体による住民互助活動の創出」「互助活動の入口となる多様なボランティア機会の提供」の概要を整理した。



# 1. 事業全体の流れ

本事業では、事業目的の達成に向けて、下記の4つの事業を実施した。また、過去に本事業を通じて掘り起こし・育成を行った人材による継続的な活動についても、フォローを行った。



## 事業成果の取りまとめ

- 事業に参加した地域住民に対するアンケート調査結果、関係機関や事務局スタッフ等へのヒアリング結果の取りまとめ
- 住民互助活動の創出に向けた課題と対応策の整理
- 住民互助活動の創出に向けた提言、来年度以降の取組みの方向性検討

## 2. 事業実施内容

本事業で実施した「湊地区町内会が開催する交流促進のための各種取組みへの企画・運営支援」「住民自治組織の強化を目的とした互助活動に向けた意識啓発セミナー」「住民主体による住民互助活動の創出」「互助活動の入口となる多様なボランティア機会の提供」の主な実施概要は、以下の通りである。なお、過去の本事業を通じて掘り起こし・育成を行った人材については、～の一部の企画・運営にも協力をいただいた。

湊地区町内会が開催する交流促進のための各種取組みへの企画・運営支援

開催日	開催地区	内容	実施回数・参加人数
2018年8月26日 2018年9月19日	吉野町一丁目	<ul style="list-style-type: none"> <li>吉野町一丁目にある「on the corner」を開放し、地域住民同士の顔の見える関係づくりに向けたサロン活動を支援。</li> <li>また、吉野町一丁目の町内会の活動で熱中症についての講座の運営を支援し、住民同士の交流を促す活動を実施。</li> </ul>	実施回数：2回 参加人数：62名
2018年7月30日 2018年8月20日 2019年3月18日	湊町一丁目	<ul style="list-style-type: none"> <li>復興公営住宅集会所において健康教室の開催を支援。</li> <li>復興公営住宅入居者と周辺の住民との交流活動の企画・開催を支援。</li> </ul>	実施回数：3回 参加人数：35名
2018年6月28日 2018年12月21日	吉野町二丁目 吉野町三丁目 御所入	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会の役員や民生委員等が中心で行っている「みなとあそぼう会」(吉野町二丁目・吉野町三丁目、御所入)のイベント運営を支援。</li> </ul>	実施回数：2回 参加人数：30名
2018年7月18日 2018年12月6日 2019年2月26日	松並町	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会役員や地域住民による地域交流を目的としたものづくりに関するサロン活動の運営を支援。</li> </ul>	実施回数：3回 参加人数：45名

## 2. 事業実施内容

### 住民自治組織の強化を目的とした互助活動に向けた意識啓発セミナー

開催日	場所	内容	参加人数
2018年8月22日	総合福祉会館 みなと荘	<ul style="list-style-type: none"> <li>石巻専修大学人間学部 教授 木村民男氏を講師として、「まちづくりは人づくり～皆が地域の宝物～」の講演会を開催。</li> <li>講演会後に6つのグループに分かれ、地域づくりを考えるグループワークを実施。</li> </ul>	参加人数：32名
2018年10月27日	総合福祉会館 みなと荘	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護の未来代表 阿部充宏氏を講師として、「皆で食べるみなと」セミナーを開催。</li> <li>「食べる」をテーマに地域のボランティアの協力の下、湊地区の伝統食を試食し、食がもたらす地域交流について検討。</li> </ul>	参加人数：20名 ボランティア：8名

### 住民主体による住民互助活動の創出

開催日	場所	内容	参加人数
2018年5月～2019年3月	集会事務所（吉野町二丁目、吉野町三丁目、御所入）	町内会長や民生委員、湊地域包括支援センター等の協力の下、地域住民による見守り活動「みなとオレンジの会」の立ち上げに関する企画を支援。	立ち上げに関する打合せ：3回 参加人数：12名
2018年5月～2019年3月	松並町	サロン活動の参加者から、住民自身で運営可能な地域交流に向けたサロン活動実施の意向があり、活動に向けた話し合いの企画・運営を支援。	参加人数：9名
2019年1月～3月	石巻市吉野町 on the corner	地域住民の交流促進を図ること等を目的として、住民主体による麻雀教室を企画・運営。	参加人数：5名

## 2. 事業実施内容

### 互助活動の入口となる多様なボランティア機会の提供

開催日	場所	内容	参加人数
2018年9月30日	湊小学校体育館	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で活動する子育て支援NPO団体と連携し、みなと子育てフェスタを開催。高齢者が昔の遊びを指導するボランティアとして参加するなど、多世代間での交流を生む場、顔の見える関係づくりを構築。</li> </ul>	参加人数：83名
2018年5月～2019年3月	石巻市吉野町 on the corner	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民交流のスペース「on the corner」を開放し、地域住民にカラオケや映画鑑賞、アートワーク等を提供し、住民同士の交流を促進。</li> </ul>	開催日数：216日 参加人数：1,380名 (延べ)
2018年5月～2019年3月	石巻市吉野町 on the corner	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康教室「ふまねっと教室」( )において、定期的にサポーターとして参加し、地域住民をサポート。</li> <li>また、ボランティアに意欲がある地域住民を対象に、「ふまねっと教室」の一部を運営するためのボランティア機会を提供。(ボランティアマッチング)</li> </ul>	開催回数：22回 参加人数：301名 (延べ) ボランティア：51名 (延べ)
2019年3月28日	石巻市吉野町 on the corner	<ul style="list-style-type: none"> <li>湊小学校や零羊崎神社等の協力の下、小学生に対して、神楽の練習の場を提供し、神楽発表会を実施。</li> <li>練習時や発表会当日の参加者の衣装作成や声かけ等のボランティアを実施。</li> </ul>	参加人数：58名 (延べ)

「ふまねっと」とは、北海道教育大学釧路校の北澤一利教授が開発した、認知症予防と介護予防に有効なデュアルタスク運動のことである。

## 2. 事業実施内容

(活動風景： 湊地区町内会が開催する交流促進のための各種取組みへの企画・運営支援)



- 湊地区町内会が開催する地域住民の交流・促進を目的としたイベントやサロン等の企画・運営について、当法人が必要に応じて、支援を行った。

## 2. 事業実施内容

(活動風景： 住民自治組織の強化を目的とした互助活動に向けた意識啓発セミナー)



- 意識啓発セミナーで、石巻専修大学人間学部 教授 木村民男氏を講師として招聘した。セミナー当日は32名が参加し、基調講演やグループワークの実施を経て、住民互助活動の必要性や重要性について学んだ。

## 2. 事業実施内容

(活動風景： 住民自治組織の強化を目的とした互助活動に向けた意識啓発セミナー)



- 神奈川県にある合同会社「介護の未来」代表でケアマネジャーでもある阿部充宏氏を講師として招聘し、セミナーを開催した。セミナー当日は20名が参加し、「地域の食」をテーマとして、湊地区に伝わる食文化や食による地域交流の機会を提供した。
- 本セミナーの運営については、過去に本事業に参画された方も、ボランティアとして、会場受付や伝統食の調理・提供等を実施するなど、セミナー運営に積極的に関わった。

## 2. 事業実施内容

(活動風景： 住民主体による住民互助活動の創出)



**地域で安心して暮らし続けるために**

平成も残りわずかとなりましたね。東日本大震災から8年の月日が経ちましたが、この町内にも高齢化の波が押し寄せて来ています。また一人暮らしの方もおり、「地域で何かできないかなあ…」の声から、住み慣れた私たちの地域で安心して暮らし続けていくにはどうしたら良いのだろうかとの話し合いを重ねています。そして「みんなで支え合っていくこと」を考えていく「みなとオレンジの会」を立ち上げ、活動を開始します。

まずは町内会のみなさまへの声かけ活動を行ってまいります。そこから「いろいろな困った」を共に考え、共に支え合う安心して暮らせる町内会をみんなで作っていただければと考えています。この活動に協力していただける住民有志を募集します。老若男女どなたでも、どのような形の参加でも構いません。一緒に良い町内会にしていきたいです！

平成 31 年 3 月吉日  
みなとオレンジの会  
御所入町内会  
吉野町二丁目町内会  
吉野町三丁目町内会  
協力 石巻市社会福祉協議会、奥州域包括支援センター、NPO ぽんぷんふれあい会

**見守り活動  
はじめます。**  
仲間大募集

オレンジは  
まあるくて  
やこく  
あつたけえ

- 「吉野町二丁目」「吉野町三丁目」「御所入」の町内会役員や民生委員が中心となり、石巻市社会福祉協議会、湊地域包括支援センター等の協力の下、地域住民による見守り活動を行う団体「みなとオレンジの会」の立ち上げに関する話し合いが3回開催され、発足に至った。
- 2019年度は町内会役員を中心に運営を実施し、地域住民の参画を促す活動を行う予定である。



## 2. 事業実施内容

(活動風景： 互助活動の入口となる多様なボランティア機会の提供)



- 地域の住民を対象に「ふまねっと」運動を活用した健康教室を定期的で開催し、過去に本事業に参画した人材がサポーター役として参加者を指導した。また、ボランティア活動への意欲がある地域住民に対して、健康教室の準備や受付等の活動機会の情報を提供するなど、ボランティアマッチングも実施した。
- みなと子育てフェスタ、神楽発表会等の地域交流イベントにおいても、ボランティアに関心のある方がイベント当日の会場設営・運営の手伝い、地域住民への声かけなど、運営の一部を担った。

## 事業に対する評価

---

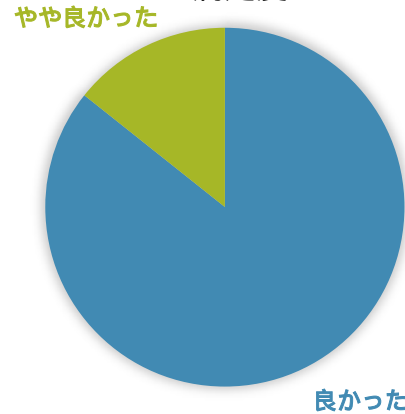
- 本章では、本事業に参画をいただいた地域住民の方々や事業運営に従事した事務局スタッフによる事業に対する評価、所感を記載した。
- 「地域自治組織の強化を目的とした互助活動に向けた意識啓発セミナー」については、セミナー終了後に実施した参加者アンケートの結果を掲載した。
- また、本事業に参画いただいた参加者や、事務局スタッフへのヒアリング結果を記載した。

# 1. 本事業における意識啓発セミナー参加者向けアンケート結果

## 「住民自治組織の強化を目的とした互助活動に向けた意識啓発セミナー」

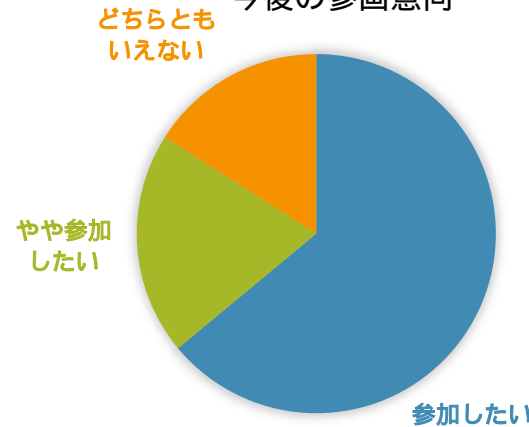
【「地域づくり講演会」セミナー（講師：木村民男氏）】

「地域づくり講演会」セミナーの満足度



意識啓発セミナーのうち、「地域づくり講演会」の受講者に対し、講演会の満足度についてたずねたところ、全回答者21名中18名が「良かった」、3名が「やや良かった」と回答していた。

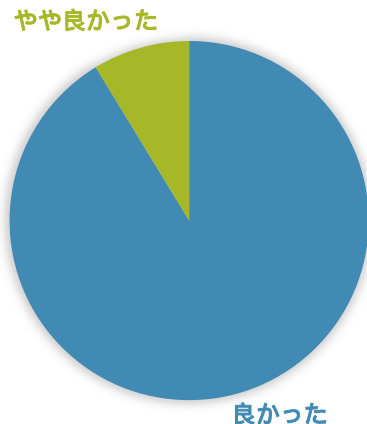
同様のイベントに関する今後の参画意向



「地域づくり講演会」の受講者に対し同様のイベントに関する今後の参加意向についてたずねたところ、全回答者25名中16名が「参加したい」、5名が「やや参加したい」と回答していた。

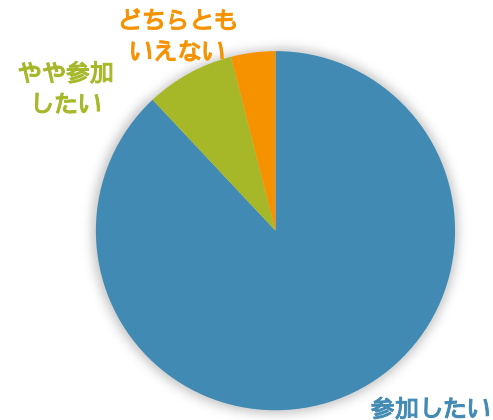
【「皆で食べるみなと」セミナー（講師：阿部充宏氏）】

「皆で食べるみなと」セミナーの満足度



意識啓発セミナーのうち、「皆で食べるみなと」セミナーの受講者に対し、その満足度をたずねたところ、全回答者23名中21名が「良かった」、2名が「やや良かった」と回答していた。

同様のイベントに関する今後の参画意向



「皆で食べるみなと」セミナーの受講者に対し、同様のセミナーに関する今後の参加意向についてたずねたところ、全25名中22名が「参加したい」、2名が「やや参加したい」と回答していた。

( ) いずれの図についても、無回答を除くベース。

## 2. 本事業に参画した参加者等への聴き取り調査結果

### 【イベント等を企画・開催した湊地区町内会】

- 復興公営住宅入居者と従来から住んでいる地域住民と一緒に出来るイベントをもっと増やしていきたい。
- 復興公営住宅には高齢者が多く、今年度サロンを立ち上げる際には、住民だけでは難しかったので、NPO法人ぱんぷきんふれあい会や社協の方々にも立ち上げに協力していただいた。ぱんぷきんふれあい会や社協には今後も継続的に関わってほしい。
- on the cornerが近くにあるので、町内会の役員を始め、困り事がある場合、相談出来る場所があることはとてもうれしい。
- 松並地区には集会所がないため、集まる場所が遠いという問題がある。ただ、楽しいイベントや送迎があれば集まりたいという人はたくさんいる。無理のない範囲で誰でも参加出来るような集まり、個々の趣味を共有出来るような活動をしていきたいと思う。
- 町内会だけでの声かけはなかなか難しい場合もあるので、町内会にいる多くの住民が声かけやちらし作成等を手伝っていただくととても助かる。

### 【湊地区町内会が企画・開催したイベント等に協力した関係機関（社協など）】

- on the cornerという場所があることはとても大きい。住民にとって、on the cornerに来れば、誰かがいる、何かが出来るという意識がある。他方、社協にとっても、on the cornerに来ると、湊地区に関する情報を知ることが出来るという点で、まずon the cornerがあり続けていただくことが一番かと思う。
- 本年度の事業の一番の成果は、「みなとオレンジの会」の立ち上げが決まった事である。3町内会の町内会長や役員の方々が従来から見守りに対する意識があったという点もあるが、サロン等で何年もかけて関わり続けた事で、町内会の人達が自分達の活動としてやっていこうという気持ちになってくれたことが何よりも大きい。

## 2. 本事業に参画した参加者等への聴き取り調査結果

### 【意識啓発セミナーの参加者】

- 湊地区の元気高齢者の為にこれから共に頑張りたいという気持ちになった。
- 皆さんと一緒に過ごせることはとても大事だと思った。地域に戻り友人づくりを意識して利用者様にご提案をしていきたいと思った。
- とても楽しいひと時を過ごさせてもらった。このようなイベントを度々やって欲しい。

### 【ボランティアからのご意見】

- 自分達で出来る事なのでやって当然のことだが、ありがとうという言葉がうれしかった。
- 地域の皆さんの顔を知る事が出来たのでうれしかった。
- 皆さんの笑顔に会うのが楽しみである。自分達でもまだまだ出来る事があると感じた。
- 自分達にも出来る事があると感じた。湊地区に伝わる料理を若い世代にもつないでいけたらうれしい。

### 3. 本事業に参画した事務局職員への聴き取り調査結果

#### 【事務局職員による本事業全体の総括】

- 町内会の高齢化が進む中で、高齢の役員の方達が頑張ってくれている事を感じた。無理なく続けられるような体制をつくる事が急務だと感じた。
- 住民主体の活動をリードしていこうという人は一定数いると感じる。その方たちが継続して気軽に参加出来るような場所を提供する必要がある。
- 講演会等への参加者が少ないのも現実だが、従来よりは増加傾向にある。内容を考えたり、声かけをするネットワークの構築が少しずつ出来ていると感じる。町内会の役員や民生委員との関係がスムーズにしている事も理由の1つだと思う。
- サロン活動や地域の集まりを望む声はとても多いものの、実際に先頭に立って企画・運営してくれる人が少ないことや、高齢者ばかりという問題がある。無理のない緩やかな参加の仕方は必要である一方、サロン活動を運営する方への支援や相談、サポートする事が出来る参加者が必要である。すなわち、一人でやっていくのではなく、協力して企画・運営することが出来る体制を整える必要がある。

## 事業の総括と今後に向けた提言

---

- 本章では、事業を通じて得られた気づきや発見を踏まえ、「住民互助活動」を行う上で必要な取組みについて、いくつかの提言を整理した。

## 1. 本事業の総括

- 本事業においては、湊地区における町内会活動への企画・運営支援による地域力の向上・地域住民の交流促進や、地域のことに関心を持つ担い手となるライトな互助人材の掘り起こしやその人材の育成、これまでに本事業において掘り起こし・育成を行った人材による活動の継続を目標として設定した。
- 「湊地区町内会活動への運営支援による地域住民の交流促進」については、地域住民同士の交流を促す活動に対して、必要に応じて企画・運営の支援を実施した。
- その結果、湊地区町内会（「吉野町二丁目」「吉野町三丁目」「御所入」の3町内会）共同で住民主体の見守り活動を行う団体「みなとオレンジの会」が発足し、町内の住民全体の活動とするために、地域のボランティアを募集し一緒に活動を行うことを検討するまでに至った。また、松並町内会では住民主体によるサロン活動を要望する意見が見られ、事務局も交えたサロン活動継続に向けた話し合いが実施された（来年度以降、どのような形で継続するかについて引き続き検討する予定である）。
- 「地域のことに関心を持ち担い手となるライトな互助人材の掘り起こしやその人材の育成」については、多世代交流の場として開催した「みなと子育てフェスタ」において、地域の子育て支援団体と共に、地域の高齢者による昔の遊びを教えるイベントの開催を支援し、地域住民の交流を促した。また、その他のイベントや教室においても、地域住民が麻雀教室を自主的に運営するなど、積極的に活動に参画する姿が見られた。
- 加えて、「過去に掘り起こし・育成を行った人材による活動」については、「ふまねっとサポーター」など、定期的な交流イベントに対して、過去に本事業に参画した方々がボランティアとして、イベント運営に参画していただいた。
- 上記の点を踏まえれば、本事業の当初目標はおおむね達成出来たものと考えられる。



## 2. 当法人における今後の取組み

### ■ 湊地区にある支援団体や関係機関の把握や地域情報の共有、支援ニーズに関する相互情報の提供

- 当法人が行う住民交流イベント等の地域づくり活動を通じて、地域住民から、地域や個別の生活に対するニーズ・課題を把握することが出来つつあるが、近年においては、ニーズ・課題の内容が複合化、重層化しつつある。
- こうした課題については、当法人のみでは対応しきれないため、様々な主体（住民、住民自治組織、支援団体等）と情報の共有や連携が必要であるが、現状、関係機関同士の連携が十分になされていない。
- また、湊地区内に支援団体や関係機関がどのくらいあるか、あるいはどのような支援内容を実施しているかについても、網羅的かつ詳細に把握されていない。
- 上記の残された課題への対応に向けて、今後は、地域課題の解決に多様な主体が連携して取り組む体制の構築を目指し、支援ニーズに関する情報の共有や活動時の連携のあり方等について検討していく。
- 地区で把握された課題やニーズを早期に発見し、対応可能な関係を構築することにより、地域の互助力がさらに強化されるものと推察される。

- 最後までご覧いただき、ありがとうございました。
- 内容についてご不明な点等がございましたら、下記までお問合せください。

特定非営利活動法人ばんぷきんふれあい会（代表理事：渡邊 智仁）  
〒986-0865 宮城県石巻市丸井戸三丁目3番8号  
TEL：0225-96-7845 / FAX：0225-93-4871  
電子メールアドレス：t-pump@pumpkin-kaigo.jp  
ホームページURL：https://pumpkinfureaikai.jimdo.com/  
担当：渡邊、菅野

